

イベント企画での重要ポイントに関する”イモ視点な”覚書

今回、植物いきいきサークルとして様々なイベント企画に関わることができた。ひとつは「学園祭」であり、もうひとつは「ファーマーズハロウィン in 河北潟」である。どちらのイベントも、イベント自体は非常に楽しく、サークルとしても有意義なものであったが、そのイベントを通して学んだことも少なくない。今後、サークルによるイベント企画がある場合（それほど大がかりなイベントはまだできる規模はむろんないが...）に念頭に置いておきたい重要なポイントも得ることができた（かもしれない）ので、ここに記す。



図1 TDLのシンデレラ城



図2 USJのユニバーサルグローブ

日本の2大テーマパークと例えば、東は東京ディズニーランド（TDL、図1参照）、西はユニバーサル・スタジオ・ジャパン（USJ、図2参照）かと思われる¹⁾²⁾。規模でいえば、TDLの方が大きいですが、USJも

家族連れのためのワンダーランドやハリーポッター等のエリアが出来てからV字回復をみせているとのことである³⁾。

しかしながら、これに対抗するように先ごろTDLの敷地をさらに拡大するとの計画案が流れて久しい⁴⁾。

この日本で最も大きいイベント会場（テーマパーク）のTDLでは、パークの運営に関して4つの鍵を設けている⁵⁾。①Safety（安全）、②Courtesy（礼儀正しさ）、③Show（ショー）、④Efficiency（効率）である。これらの頭文字からSCSEと呼んでいる。ここで重要なのは、実はこれらには優先順位があり、①から順に優先順位が高いのである。すなわち、Safety（安全）であることが最も重要視され、それがまず確保できてこそ、ゲストにハピネス（幸福感）を提供できるとのことである。

「学園祭」においては、このSCSEはどうだったのであろうか？

大学イモを提供する際に「安全・安心・無農薬」といううたい文句があった。まさにイモ視点なSafety（安全）である。学内農園はメンバーが、一から作り上げた農園であり、もちろん栽培から収穫まで厳密に管理されて



いたことは間違いない（苗を植えた2週間後ぐらいに枯れそうになったが...r(^ω^*)）。イモも愛情もって丁寧に洗った。そのお陰で、売り上

げも悪くはなかった（たぶん）。売り子のメンバーさんもCourtesy（礼儀正しさ）ありで、途中にヨサコイ服でのShow（ショー）も見られた。Efficiency（効率）

についてはちょっとバタバタ感もあったが、4番目の優先順位なのでよしとする。以上より、サークルとして、大学イモを購入したお客さん（ゲスト）にハピネス（幸福感）を提供できた（かも）といえるだろう。



1) 東京ディズニーランド: <http://ja.wikipedia.org/wiki/東京ディズニーランド>. (閲覧 2014.11.7)

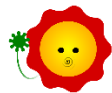
2) ユニバーサル・スタジオ・ジャパン: <http://ja.wikipedia.org/wiki/ユニバーサル・スタジオ・ジャパン> (閲覧 2014.11.7)

3) USJのV字回復: http://www.nikkei.com/article/DGXNASFK23046_T20C14A5000000/ (閲覧 2014.11.7)

4) ディズニー拡張で新エリア: <http://www.sankei.com/photo/story/news/141030/sty1410300013-n1.html> (閲覧 2014.11.7)

5) パーク運営の基本理念: <http://www.olc.co.jp/tdr/profile/tdl/philosophy.html> (閲覧 2014.11.7)

植
へ
口
新聞



植物いきいきサークル

第31号

発行者:犬丸、川端

